
届かない遺書 ～ ”手紙” シリーズ第一弾～

はーぴん

注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

【小説名】

届かない遺書 ～ ”手紙” シリーズ第一弾 ～

【Nコード】

N9097D

【作者名】

はーぴん

【あらすじ】

私は今日、この世界から消えようと思うー！。彼女は何故この世界から消えるのか？彼女をそうさせたものとは？その鍵は、もはやいない彼女の恋人にあてた『手紙』にあったー！。

あなたは今 何を見ていますか

淳ちゃんへ

元気ですか

そちらは楽しいですか

風邪引いてませんか

ご飯ちゃんと食べていますか

寂しくないですか

こちらは元気です

こちらはそこそこ楽しいです

風邪もひいてません

ご飯もちゃんと食べてます

だけど あなたがいなくて寂しいです

今 あなたは何をしていますか

きつと 自分がしたい事をしてるんだろうね

あなたの事だから 向こうでも元気にしてると思う

私の方はなんだかさ

あなたがいなくなってから

心に小さな穴が開いちゃった

別にあなたがいなくなっただって 私の日常は変わる事はないし
逆に私がいなくなっただって あなたの日常が変わる訳でもない

でもさ何だかさ あなたがいなくなってから
何かが変わってしまった気がする
例えば いつも一人でご飯を食べていても
どこか横にあなたがいる気がして 寂しいの

今 あなたは何をしていますか
猫のミーちゃんには会えたかな？

ミーちゃんが死んじゃった時 あなたは枯れそうなくらい 涙を
流していたよね

私もさ あの時すっごく悲しかったんだ

あの時はまださ 『死ぬ』って言っても身近に感じられなくて
でも人が死ぬってさ この世界からその人が消えるって事だよ
人一人いなくなるって こんなにも苦しい事だって初めて知ったよ
こんな事になるんだったら もっとあなたとたくさん時間を過
ごしていたかったよ

もっと色々な所に行きたかったし

もっとたくさんのお話を あなたと話したかった

あなたが行きたいって言っていた遊園地

今日で閉園になっちゃうんだって

だから私は今 あなたの代わりにそこにいます

あなたの事 私は何度も忘れようとした

だってあなたの事を考える度

あなたとの優しい思い出を思い出しては その後にくる絶望感に
おしつぶされるのだから

あなたはもういないって そんな事を考えると

私の目からは 止められないほどの涙が溢れ出てくるんだ

あなた以外の人を 愛そうともした

でもその度に

私はあなたの優しさを思い出して

逃げられない罪悪感に 捕われてしまうんだ

何故ならあなたの事を

本当に 本当に 愛していたから

だから私 決めただ

一生あなたを愛し続けようと

どんな事があってもあなたを想い続けようと

それが私の償いになるのなら

さつき こちらはそこそこ楽しい って言ったよね

あれ嘘なんだ

あなたがいない生活なんて ちっとも楽しくない

何も変わらないはずなのに

何かが変わってしまったんだ

仕事には集中できないし

ひきこもりがちになってから 友達も離れてった

実家に帰ろうとしたけれど

そこにはもう 弟の家族がいて

私の居場所は どこにもなかった

ねえ 淳ちゃん

これって卑怯な事かな

逃げるって卑怯な事かな

私は 今日

この世界から 消えようと思う

「えー、臨時ニュースが届きました！ つい先ほど、大手レジャーランド ランドの人気アトラクション××コースターの頂上から20代と思われる女性が身を投げました！ 女性はすぐに病院に搬送されましたが、間もなく死亡した模様です！ ちなみにこの遊園地は、今日で閉園だったようです！」

お父さんへ

親孝行できなくてごめんなさい

「稼いで車でも買ってくれ」って言ってたよね

ごめんね 約束守れなくて

お父さんがよく肩車してくれて行ったお花見

すっごく楽しかったよ

それと私の為に

そんなにお金ないのにお金たくさん出してくれて ありがとう

どうか長生きしていていてね

お母さんへ

ここまで育ててきてくれたのに ごめんね

「早く孫の顔が見たい」って言っていたよね

約束守れなくて ごめんね

淳ちゃんが死んじゃった時

取り乱す私を 真っ先に優しくなぐさめてくれたよね

お母さんとはまるで親友みたいになくさんの事を話して たくさん相談したよね

本当にありがとう

お嫁さんの奈津子さんと 仲良くしてあげてね

孝仁へ

こんな情けない姉で ごめんね

「お姉ちゃんも一緒に住もうよ」って言ってくれたよね
でもあなたにはもう家族がいたから

だけど ありがとうね

結婚する前はよく

淳ちゃんと出会う前の一人暮らしの私の所へ 遊びにきてくれた
よね

私はあなたのおかげで 寂しくなかったんだ

よく口喧嘩したけど

一番最初に 謝ってくれたよね

あなたみたいなお優しい弟を持って 私は幸せだったよ

奈津子さんと 美奈ちゃんと 幸せだね

淳ちゃんへ

私は今日 あなたの所に行きます

あなたがいない世界で

私は何を糧にしたらいいかわからなかったから

弱いよね 卑怯だよ

でも それでもいい

あなたに逢えるのなら

本当は 死ぬのが怖い

確実に 死ぬ時は痛いだろうから

でも それでもいい

あなたに逢えるのなら

向こうについたら
私の事 怒ってくれるかな

二人が逢えたら
また色んな話しようね

2008・03・21

「では、先日起こった自殺事件の続報です。どうやら遺書はどこにも見当たらないようです。」

(後書き)

あとがきがあります(大丈夫な方は、スクロールして下さい)

皆さんお久しぶりです、はーぴんです。

今回は、このような恋人を失った女性の遺書を書いてみました。

これを読んで何かを感じ取ってくれましたら幸いです。

ただ私個人としては、この女性の行動は絶対に認めたくありません。いえ、認められるものではないです。恋人を失った気持ちは痛いほどわかりますが、彼女が死ねば彼女の大切な人にもその思いをさせる事になります。そんな思いを込めてこの小説を書いてみました。

最後に、こんななっがい後書きにも付合ってもらいありがとうございます！
ございました！もしかしたら、続編書くかもしれません。では！

by はーぴん

広告募集中

小説関連広告に最適です。
出版社や印刷会社はもちろん、
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくは PDF 小説ネット広告募集をご覧ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9097d/>

届かない遺書 ～ ”手紙” シリーズ第一弾～

2008年11月7日09時21分発行